



棚倉町商工会 創立60周年記念式典

とき 令和2年10月23日(金) 午後5時
ところ 新富家

— *the 60th* —
Anniversary

棚倉町商工会

TANAGURA Society of Commerce & Industry

式典次第

	進行 運営委員長 事務局長	高田昇 益子保弘
1. 開式のことば	副実行委員長	大野和男
2. 実行委員長あいさつ		立石誠
3. 感謝状贈呈		
4. 受賞者代表謝辞	歴代退任会長	金澤寛二様
5. 来賓祝辞	棚倉町長	湯座一平様
	棚倉町議会議長	須藤俊一様
	福島県議会議員	宮川政夫様
6. 閉式のことば	副実行委員長	近藤弘

式典趣旨

棚倉町商工会は、町の振興発展に寄与された棚倉町振興会ならびに近津商工会が昭和35年に商工会法が制定されると同時に両会が発展的に統合し、昭和35年11月26日に新たに棚倉町商工会として設立、会員相互の利益と地域経済の向上発展を目的に地域唯一の経済団体として誕生いたしました。

以来、経営改善普及事業、地域総合振興事業、そして地域商工業者の経済的、社会的地位の向上を図るべき事業に努めるとともに、時代のニーズに対応するため、広域連携による小規模企業への支援機能の強化や、組織運営の効率化などに取組み、ここに商工会法施行後60年という歴史を辿りました。

さらに昭和37年5月27日に商工会青年部を結成、続いて昭和41年6月21日に婦人部が結成され、地域の実態や小規模事業者の意向、あるいは地域住民の動向に的確に対応し、地域における商工業の総合的な改善発展とあわせて社会一般の福祉の増進に資するため事業を進めてまいりました。

しかしながら高度成長を築いた経済産業の形態が世界的なグローバル化やIT関連事業の急激な発展により世界経済が大きく変貌するなかで輸出や生産の優位性が大きく崩れ、また円高やデフレ進行に直面するなど、地域経済や中小企業にとって厳しい状況が続いております。

このような状況の中、新型コロナウイルス感染拡大により経済が大打撃を受け、以前の状態に回復するまでにはかなりの時間を要することが予想されます。また、今回の新型コロナウイルスの感染拡大を機会に社会全体のしくみが大きく変わろうとしています。

このような情勢にあって山積する諸問題を克服し、新たな経済産業の確立には独自性を発揮した技術・製品・商品・人材を創造し、中小企業の能力が活かされる新たな事業形態を築くことが求められます。

併せて中小企業の繁栄、高齢化社会や人口減少への対応、地域社会の活性化を実現していくために、当商工会は現状の課題を把握し、適切な事業活動による支援機能の発揮、地域事業者の皆様への巡回指導の強化、職員の資質向上等、商工会としての役割を果たさなければなりません。

本日ここに棚倉町商工会創立60周年の記念すべき年にあたり、商工会事業に尽力された功労者の功績を称えとともに、会員400有余と青年部、女性部員の総意と総力を結集し、中小企業の健全発展と棚倉町商工会の一層の充実強化、ならびに地域商工業が直面する課題の早期解決に向け、新たに決意を表明するものです。

表彰者名簿

■歴代退任会長	金澤寛二様
■歴代退任副会長	高橋直哉様
	(故)大相守様
■歴代退任青年部長	渡辺智夫様
	金澤恭裕様
	和田圭太様
	菊池孝志様
■歴代退任女性部長	(故)菊池好子様
	和田公子様
	石井貞子様
	塩田しげ子様
■退職事務局長	酒井聖史様



60 年の歩み

1960 ▶ 2020

棚倉町商工会

目 次

1. ご あ い さ つ	棚倉町商工会長 立石 誠	1
2. 祝 辞	棚倉町長 湯座一平	2
3. 祝 辞	福島県商工会連合会会長 轡田倉治	3
4. 会 員 数 の 推 移		4
5. 経 営 改 善 普 及 事 業 の 概 況		4
6. 年 度 別 財 政 の 推 移		4
7. 年 度 別 一 般 事 業 の 概 要		5
8. 歴 代 役 員 一 覧 表		8
9. 在 職 職 員 一 覧 表		11
10. 記 念 式 典 実 行 委 員 会		12

ごあいさつ

棚倉町商工会長
立石 誠



棚倉町商工会創立60周年の記念式典にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、本会は昭和35年に商工会法が制定されると同時に、会員相互の利益と地域経済の向上発展を目的に掲げ、地域唯一の経済団体として誕生いたしました。

それ以来、日本は戦後の復興期、高度成長期、バブルによる崩壊期、そして近年の急激な世界の自由化、グローバル化により新たな市場経済に変動してきました。現在は、それに加えてIT化が進み、人々の生活様式や経済のしくみが変わり、社会全体が大きく変わりつつあります。

これまで、このような目まぐるしく変化してきた経済や産業の時代を乗り越えてくる中で、地域経済の安定と発展のため、商工会の目的と使命を果たすべき事業に取り組み、今年で60年の歴史を刻むことになりました。

60年の歴史を振り返りますと、幾多の苦難を乗り越え、商工会の基礎を築かれました歴代の役職員、会員の皆様、本日感謝状を授与されます皆様方の献身的なご努力に対し、感謝と敬意を表すものです。

今年は、日本の経済、世界の経済が新型コロナウイルス感染拡大による影響を受け、歴史上類をみない大打撃を受けています。当地域の商工業を取り巻く環境は、増々多くの課題を抱え、厳しい状況が続いております。

このような厳しい状況の中で、当商工会は、新たな地域経済の再生を目指し、地域の個性や魅力の新たな視点での創出、独自性を発揮、そして、変化する消費者のニーズに誠意をもって対応しなければなりません。特に、商店街は、人口減少、高齢化が進む中で、今後の町づくりを形成していくうえで欠かせない存在であります。我々、商工業者は事業継承問題に加え、大型店舗の出店による売上げの減少等により厳しい状況にあるのが現状ですが、行政と商工会が一体となって公共的な役割機能を果たせる安全安心で、賑わいのある街並みを後世に残していくことが、我々に課せられた責務であります。商工会と行政が、目指すべき未来をしっかりと見据え、今後変化の激しい時代の中で、柔軟な発想と創意工夫で難局に立ち向かい、進むべき道を切り開いていかなければならないと考えております。

今後は、商工会と行政が今まで以上に協力体制を築き、商工業者の皆様との連携を密にいたしまして、地域経済の発展と振興に取り組んでまいり所存であります。関係各位の格別なるご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。

祝 辞



棚倉町長
湯 座 一 平

棚倉町商工会が創立60周年を迎えられますこと、誠にありがとうございます。心からお祝い申し上げます。

棚倉町商工会におかれましては、昭和35年10月の創立以来、長きにわたり地域経済のけん引役として商工業の振興にご尽力されるとともに、商工業者のニーズに応え経営改善事業に取り組み、また、本町のまちづくりにも輝かしい実績を積み重ねてこられました。

これもひとえに、歴代会長をはじめとする役員、会員、並びに関係者の皆様のたゆみない努力の賜物であり、改めて感謝と敬意を表するものであります。

棚倉町では、平成27年に作成した「棚倉町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの基本目標「魅力ある産業の継承・創出と安定した雇用の創出」、「棚倉で暮らしたい、棚倉に來たいと思う人を増やす(定住・交流人口の創出)」、「結婚・出産・子育て・教育環境の充実」、「人と地域をつなぐ まちづくり」の定めに沿って、人口減少問題により特化して地方創生を成し遂げていくため、様々な施策に取り組んでまいりました。

今年度は第二期としてさらに「多様な人材の活躍を推進」、「新しい時代の流れを力にする」という2つの横断的な目標を設定し引き続き効果的な施策を積極的に展開しているところです。

しかし、今年に入り、これからという時に、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行、日本国内でも感染が拡大し、なかなか収束がみえない状況となっております。コロナ禍の影響を最も受けているのが宿泊業・飲食サービス業と言われていますが、それ以外の事業者も無縁なわけではなく、コロナショックの影響はなお予断を許さない状態です。

こうした中、町独自の支援策として、経営に大きな影響を受けた町内事業者の皆様へ事業継続支援金10万円を給付する「棚倉町新型コロナウイルス感染症対策事業者臨時給付金事業」をはじめ、店内での営業を自粛した飲食店等がタクシーによるフードデリバリーを利用した場合に配達料金を助成する「棚倉町タクシー有償貨物運送料助成事業」、さらにはつなぎ融資として上限100万円まで無利子無担保の「棚倉町新型コロナウイルス感染症対策資金貸付事業」を行ってまいりました。

また、棚倉町商工会にご協力いただいた経済支援対策「棚倉町飲食店支援クーポン券発行事業」では、取扱事業所として73店舗に参加ご協力いただき、多くの町民の皆さんに町内飲食店で利活用について促すことができ、売り上げ確保に繋げるという目的を達成することができたところであります。

今後、アフターコロナという新たな時代には、いわゆる「新しい生活様式」の定着によるライフスタイルの変化にとどまらず、社会経済情勢・ビジネス・環境・人口減少・まちづくりなど、ますます広範囲で変化が加速するものと思われまます。

こうした状況の変化を的確に捉えながら、第6次棚倉町振興計画の「住民が主役のまち」「安心で優しいまち」「誇りと愛着のもてるまち」の基本理念のもと、持続可能な財政構造の確立に努めながら、産業の振興と活性化のため、自然や歴史、伝統など本町の特色や地域資源を最大限に活かして各種事業に取り組んでまいりますので、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

皆様方におかれましては、ここに迎えられた記念すべき60周年を契機に、創意工夫を図りアイデア溢れる企画・イベント・取り組みで、本町の輝く未来の創造に向け充実した事業を展開していただけますようご期待申し上げます。

結びにあたり、棚倉町商工会の限りない発展と皆様方のご健勝とご活躍を祈念申し上げて、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

福島県商工会連合会会長
轡 田 倉 治



棚倉町商工会が創立60周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

貴商工会におかれましては、昭和35年に創立以来今日まで60年間、会員をはじめ役員皆様方の御努力により、経営改善普及事業を中心とした取り組みを積極的に実施され、地域社会の発展に多大な成果をあげてられました。改めて深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

御承知のとおり「商工会法」は地域の商工業の総合的な改善発達を図ることを目的に昭和35年に施行され、商工会は我が国の中小企業対策を担う中心的機関と位置付けられました。

平成26年には、小規模企業振興基本法の制定により小規模事業者への新たな施策体制が構築され、また小規模支援法の改正により事業の持続的発展のための各種政策も充実して参りました。

このような中、棚倉町商工会は、東日本大震災・原発事故をはじめとした特別相談窓口を設置して商工業者への復旧復興、販路開拓へ向けた各種補助事業等の伴走支援、及び町内プレミアム商品券の発行事業に積極的に取り組まれ、地域ビジネスの強化を図ると共に、行政と連携しての「東北の小京都」まちづくり事業の推進、「十万石棚倉城まつり」等の賑わい創出事業にも積極的に努められ、地域の商工業振興発展のみならず、事業機会の創出や地域コミュニティの活性化、交流人口の推進にも大きく貢献されてこられましたことは、まさに歴代役員リーダーシップと会員皆様のご尽力のたまものであります。

現在、大規模災害や新型コロナウイルス感染拡大により事業者の経営環境はかつてなく厳しい状況にあります。貴商工会におかれましては、より一層会員の皆様に寄り添い、一丸となって地域商工業の発展に取り組まれるとともに、明るく活力ある地域づくりに寄与されますことをご期待致します。

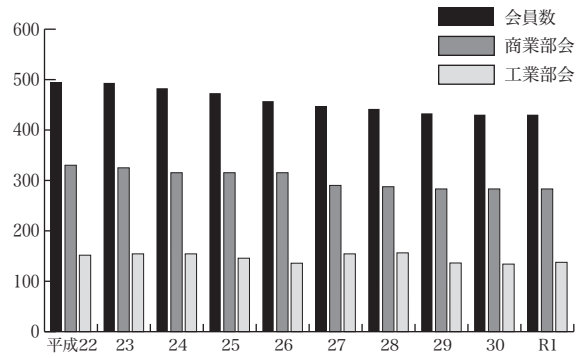
結びに、棚倉町商工会のますますのご発展と、会員皆様のご健勝をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

■最近10年の現況

◎会員数の推移

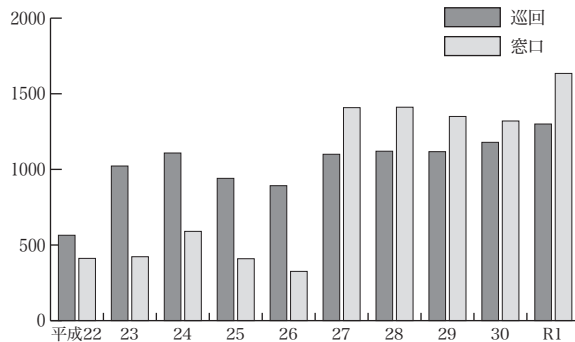
単位:人

年度別	会員数	商業部会	工業部会
平成22年	494	330	151
平成23年	491	325	153
平成24年	481	315	152
平成25年	471	312	145
平成26年	458	312	133
平成27年	449	293	143
平成28年	441	289	144
平成29年	433	282	138
平成30年	430	275	135
令和元年	429	276	138



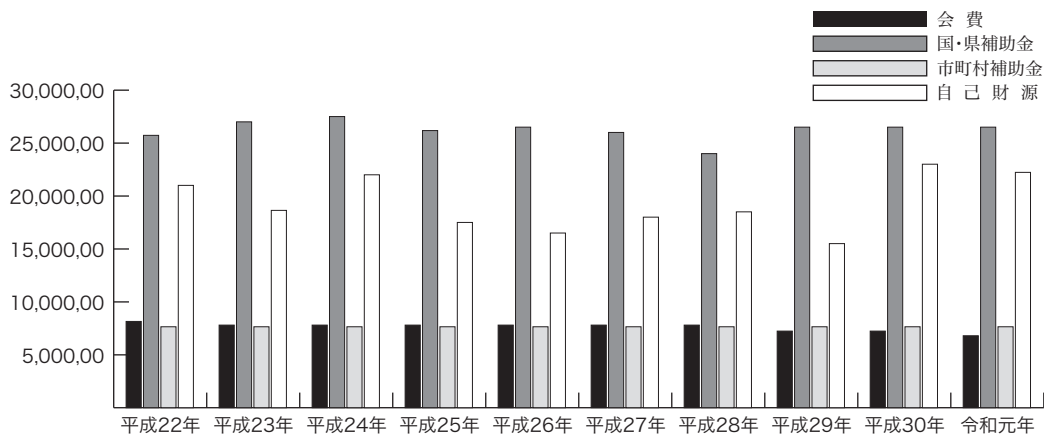
◎経営改善普及事業の概況

年度別	巡回	窓口
平成22年	576	419
平成23年	1,021	426
平成24年	1,125	598
平成25年	947	404
平成26年	893	356
平成27年	1,102	1,423
平成28年	1,130	1,419
平成29年	1,137	1,360
平成30年	1,183	1,326
令和元年	1,357	1,632



◎年度別財政の推移(収入)

年度別	会費	国・県補助金	市町村補助金	その他補助金	手数料	引当金繰入	その他	計	自己財源
平成22年	8,115,000	25,861,000	7,267,000	0	4,638,316	4,305,000	4,041,311	54,227,627	21,099,627
平成23年	7,818,000	27,049,000	7,267,000	0	4,452,112	900,000	5,523,636	53,009,748	18,693,748
平成24年	7,782,000	27,454,000	7,267,000	0	4,388,413	5,530,181	4,491,682	56,913,276	22,192,276
平成25年	7,602,750	26,011,000	7,267,000	0	4,702,688	800,000	4,272,723	50,656,161	17,378,161
平成26年	7,569,750	26,473,000	7,267,000	0	4,621,371	2,700,000	1,832,576	50,463,697	16,723,697
平成27年	7,507,500	25,938,000	7,267,000	0	4,578,823	0	5,868,795	51,160,118	17,955,118
平成28年	7,469,250	24,123,540	7,267,000	0	4,707,985	1,500,000	4,774,458	49,842,233	18,451,693
平成29年	7,320,750	26,252,000	7,260,000	0	4,312,458	2,100,000	2,051,531	49,296,739	15,784,739
平成30年	7,200,000	26,358,000	7,260,000	4,781,523	4,288,006	7,000,000	4,663,407	61,550,936	23,151,413
令和元年	7,170,750	26,273,000	7,260,000	0	3,999,445	5,000,000	5,938,089	55,641,284	22,108,284



年度別一般事業の概要

10.15	昭和35年度(1960)		昭和45年度(1970)		昭和56年度(1981)
11.14	棚倉町商工会設立総会	4.19	花まつり	7.10	来春就職希望者工場見学
1.24	棚倉町商工会設立認可 年末年始連合売出し こまどり姉妹	5.24 8.7 3.5	素人演芸及び剣道大会 第10回通常総会 花火大会 設立10周年式典	7.27 11.13	金融懇談会 地域問題懇談会
5.27	昭和36年度(1961)		昭和46年度(1971)		昭和57年度(1982)
8.17~18	第1回通常総会 七夕行事	5.18	第11回通常総会	4.24	大型店業種代表者会議
10.18	商工会報第1号発行	5.24	年末年始連合売出し	6.24	事務所移転(旧合同庁舎)
3.3	年末年始連合売出し 三橋美智也	9.19	藤 圭子 中元売出し ちあきなおみ	1.20	地域問題啓発活動講演会
5.25	昭和37年度(1962)		昭和47年度(1972)		昭和58年度(1983)
5.27	第2回通常総会	5.11	第12回通常総会	7.30	商工会館建設地鎮祭
7.15	棚倉町商工会青年部結成	10.2	雇用促進座談会	10.14	商工会館上棟式
10.3	第1回珠算検定	12.9	消費者懇談会	1.20	新商工会館へ移転
	総代総会			2.14	商工会館落成祝賀会
5.20	昭和38年度(1963)		昭和48年度(1973)		昭和59年度(1984)
8.8	第3回通常総会	4.24	新規地元就職者を 励ます会	5.14	大型店対策協議会役員会
2.22	中元連合売出し 畠山みどり	5.21	第13回通常総会	11.9	地域問題懇談会
	年末年始連合売出し 橋 幸夫	2.24	年末年始連合売出し 歌謡招待	3.27	金融懇談会
5.11	昭和39年度(1964)		昭和49年度(1974)		昭和60年度(1985)
8.30	第4回通常総会	5.10	第14回通常総会	4.10	商調協委員勉強会
	中元連合売出し	6.15	商業モニター会議	5.21	第25回通常総会
1.17	北島三郎	1.18	事業主経済懇談会	6.21	パソコン・ワープロ基礎 講習会
	年末年始連合売出し 大木信夫			11.2	街路灯落成祝賀会
4.25	昭和40年度(1965)		昭和50年度(1975)	11.22	啓発活動後援会
5.20	花まつり全国アマチュア 自転車競技会	5.7	地元就職者・後継者を 励ます会		昭和61年度(1986)
8.30	第5回通常総会	5.22	第15回通常総会	8.8	高校生との懇談会
11.13	中元連合売出し	10.13	移動商工会の実施	9.13	商工貯蓄委員会
3.21	都はるみ 産業文化祭協賛 年末年始連合売出し 西郷輝彦	6.19~21 8.5~7 3.21	昭和51年度(1976)	9.17	八溝山頂模識建立
5.12	昭和41年度(1966)		商店街交通料調査	1.14	記帳機械化研修会
6.21	第6回通常総会	7.21	商店街診断		昭和62年度(1987)
8.18	棚倉町商工会婦人部結成	9.20	年末年始連合売出し	10.21	金融公庫特別相談日
10.16	中元連合売出し	11.29	山口百恵	12.15	地域問題懇談会
2.19	三田 明		昭和52年度(1977)	3.25	金融懇談会
2.24	商工会運動会(城跡) 年末年始連合売出し 島 和彦	9.4 10.30	就職予定者工場見学会 工業クラブ事例研究会 商店街事後指導会		昭和63年度(1988)
	労災保険事務組合 設立認可申請	2.4	昭和53年度(1978)	4.19	ライオン堂出店説明会
5.27	昭和42年度(1967)		中高生地元工場見学会	5.26	中型店出店調整小売業 者会議
7.16	第7回通常総会	7.4	商工会福島県大会(棚倉 町体育館)	10.18	冷害対策資金打合せ会
10.28	自転車ロードレース	10.25	年末年始連合売出し ピンクレディー	3.24	ルネサンス棚倉施設 説明会
3.3	金融懇談会	11.28	昭和54年度(1979)		平成元年度(1989)
	年末年始連合売出し 井沢扇		建設業代表者会議	8.22	消費税講演会
5.16	昭和43年度(1968)		八溝山頂模識建立	9.22	棚倉町商店会連合会設 立総会
9.13	第8回通常総会	5.30	地域問題に関する懇談会	2.20	商業振興後継者会議
10.9	臨時総会(商工会館建設) 秋まつり・中元売出し ミス発表会	7.21 10.22 11.13	昭和55年度(1980)		平成2年度(1990)
4.25	昭和44年度(1969)		消費者懇談会	4.20	ルネサンス棚倉オープン
5.30	事務所を旧森林組合跡に移転	2.1	ジャスコ出店説明会	5.22	第30回通常総代会
6.26	第9回通常総会	3.16	棚倉町商業活動調整協 議会設立	5.28	金融団との懇談会
	臨時総会		ヨークベニマル出店説明会	7.8	第85回珠算検定
			設立20周年親善ゴルフ大会	11.15	設立30周年記念式典
			設立20周年記念式典	12.7	商工振興会懇談会
			郷ひろみ歌謡ショー	1.26	町長を囲む新春懇談会
			ガイドブック棚倉町の 企業の作成	2.20	パソコン研修会
				3.18	ライフ、プランナー養成 研修会
					平成3年度(1991)
				5.22	第19回棚倉町新規就職者 を励ます会
				6.27	労働時間研究会
				7.5	地元高校との懇談会
				10.16	警察署との懇談会

11.26	大店法の改正説明会	8.14	棚倉大好き夏まつり		査研究報告会
12.11	商業調整協議会	9.21	企業との懇談会	2.23	講演会「経営者のための 元気が出るお話」
1.13	新春懇談会	10.14	C I 事業実行委員会		
3.9	商店診断街おこし事業	1.27	新春懇談会		平成18年度(2006)
	平成4年度(1992)		平成12年度(2000)	4.26	第40回女性部部員総会
4.23	第20回地元就職者を励ます会	4.16	棚倉六万石亀ヶ城まつり	6.16	うつくしまYOSAKOI まつりin県南
6.11	白色申告者記帳説明会	5.23	第40回通常総代会		
7.2	中小小売商業活性化推進 協議会	6.9	インターネット活用情報 交流事業委員会	6.19	第35回棚倉地方労務改善 協議会総会
8.14	夏まつり歩行者天国	7.8	第3回プレミアム付商品券 販売	10.29	城下町棚倉わくわくフェスタ
9.17	浅川町商工会役員との交歓会		金融相談日	11.16	金融懇談会
10.12	東北電力地域懇談会	7.18	金融相談日	3.21	まちなみ形成支援講演会
12.1	郡内大型店研修会	8.23	コンセンサス形成事業専 門委員会		平成19年度(2007)
1.18	ライオンドー出店説明会	9.22	企業懇談会	6.11	チャレンジショップ講演会
	平成5年度(1993)	10.14	棚倉町商工会創立40周年 記念式典	10.25	地域貢献アピールプラン 策定委員会
4.29	第40回クリテリウム棚倉大会	12.12	J・インターシップ棚高 生体験学習	11.14	知的財産権セミナー
7.16	大型店意見集約会議		役職員研修旅行「台湾」 元気の出る話「地域活性 化やる気が一番」	11.18	まち工房まつり
8.14	第45回棚倉夏まつり	1.20	2.2	1.25	経済講演会「地域格差是 正に対する取り組み方」
10.25	広域経営事業専門委員会	2.27	商店診断「経営技術強化」	2.26	経済講演会「地方におけ る今後の経済状況」
11.11	小規模振興委員会				平成20年度(2008)
12.16	小規模ビジョン策定委員会				第38回東白川経営者懇話 会総会(解散)
3.29	商工会館記念碑除幕式				第37回棚倉地方労務改善 協議会総会(総会)
	平成6年度(1994)		平成13年度(2001)	4.21	第1回町民ゴルフ大会
4.29	第5回クリテリウム棚倉大会	4.14	十万石棚倉城まつり		役職員研修旅行「ベトナム」 企業見学会
7.25	経営者懇話会講演会	5.22	第41回通常総代会	2.19	経済講演会「我慢と実行」
9.14	浅川町商工会との懇談会	8.14	第53回棚倉夏まつり		平成21年度(2009)
11.1	一日金融公庫	12.2	カード事業組合4周年記念 イベント	4.17~18	十万石棚倉城まつり
1.18	新春懇談会		労務改善協議会30周年記 念講演会	8.6	棚倉町建設経済常任委員 会との懇談会
3.15	大型店出店産産局との 打合せ	2.8	3.22	8.14	第61回棚倉夏まつり
	平成7年度(1995)		平成14年度(2002)	9.7	「街なか再生プロジェク トチーム」意見交換会
5.21	第35回通常総代会		第40回青年部部員総会	11.17	個店経営研修事業全体研修会
6.11	第100回珠算検定	4.18	第42回通常総代会	2.6	里山産業体験モニターツ アーin東白川
7.11	顧問相談役懇談会	5.22	社川・近津子供花火大会	2.22	美容・サービス業講習会
11.3	町文化センター落成式	8.7	まちづくり会社設立研究会	3.4	商工会ホームページ作成 委員会
12.13	流通問題研究会視察	2.18	棚倉町TMO構想策定事 業成果報告会		平成22年度(2010)
3.11	小規模振興委員会	3.7	3.17	4.17~18	十万石棚倉城まつり
	平成8年度(1996)		平成15年度(2003)	6.7	亀ヶ城歴史調査研究打合せ会
4.21	クリテリウム棚倉大会		(株)まち工房たなぐら創立総会	6.23	町並み研究会通常総会
6.4	町企画商工課地域振興課会議		ビバホーム棚倉店出店説明会	7.6	(株)まち工房たなぐら第7期 定期株主総会
7.24	小規模振興委員会		珠算検定	8.26	青年部「全国統一クリー ンアップ事業」
8.14	夏まつり歩行者天国	6.6	11.16	10.22	創立50周年記念式典(記 念講演・記念誌発行・感 謝状贈呈)
10.27	北緯37度フェスティバル	8.4	12.18	11.3	第5回城下町棚倉わくわく フェスタ2010
11.22	金融懇談会	11.16	町内報道機関・誘致企業 との懇談会	12.22	町内立地企業・町との懇談会
1.30	結婚アドバイザー会議	12.18	2.13	12.23	商工会ホームページ委員会
	平成9年度(1997)		工業・労改・経懇合同講演会		平成23年度(2011)
4.29	クリテリウム棚倉大会	2.13	3.17	6.3	町並み研究会通常総会
6.13	中小商業活性化連絡協議会		平成16年度(2004)	11.2	第6回城下町棚倉わくわく フェスタ2011
9.22	カード化事業委員会		街なか「わいわいがやが や」交流事業	11.5	棚倉町振興計画審議会・ 予算要望
10.26	北緯37度inフェスティバル	4.10	5.21	12.4	KFBふくしま応援CM審
11.30	ポイントカードオープニ ング大会		第44回通常総代会		
	平成10年度(1998)		第5回商工振興会総会		
4.19	ミス桜の女王発表会	10.18	東白川地区広域連携協議会 設立総会		
6.12	新旧役員懇談会	1.4	集いの小径整備起工式		
10.1	小規模振興委員会		棚倉町新春懇談会		
11.17	金融懇談会		平成17年度(2005)		
12.18	協同組合設立発起人会	4.12	商店会連合会		
3.24	協同組合創立総会	7.13	第35回東白川地方経営者 懇話会総会		
	平成11年度(1999)		商工会館空調設備設置工事		
4.8	花まつりボンボリ点灯式	8.30	お金をかけない商店活性 化作戦講演会		
6.24	まつり検討委員会	12.13	体験型ツーリズム推進調		
7.16	金融特別相談日	2.14			

12.7	査会・表彰式（県知事賞） 町内立地企業及び棚倉町 と商工会との懇談会	7.31	券販売支援（町民向け） 棚倉町キャリア教育推進 事業協力	12.5	全国展開支援事業「特産 品研究部会」
3.9	安土城と棚倉城に係る後援会	7.4~5	棚倉町プレミアム付商品 券販売支援（一般販売）	12.6~7	全国展開支援事業視察研修会
3.11	福幸イベント	7.29	東邦銀行棚倉支店親睦会 発足記念講演会・記念パ ーティー	12.11	広域連携「売上アップセ ミナー」（第4回）
4.14	平成24年度（2012） 第21回ふるさと訪問にお ける懇親会	9.29	マイナンバー相続・贈与 税の説明会	12.13	全国展開支援事業ヒアリ ング調査事業
8.28	国・東京電力へ要望書提出	11.1	わくわく東白川ご当地キ ャラ祭inたなぐら	3.2	全国展開支援事業推進委員会
10.20~21	市制90周年記念川越まつ り視察	11.11	町主催「主張発表会」青 年部員発表	3.19	特産品開発部会合同会議
11.5	平成24年度フレッシュセ ミナー大熊町	11.18	たなちゃんカード18周年 感謝祭協力		平成31年度（2019） 十万石棚倉城まつり
12.22	商工会女性部との交流会 青年部設立50周年記念事 業「棚倉冬の花火大会」	2.5~6	鶴見アンテナショップ視 察研修	4.20~21	
2.7	棚倉町商店会連合会全体会議	3.19	郡山ほたる会来町	6.12~13	令和元年度（2019） 棚倉町蛍鑑賞会（まち工 房たなぐら）
3.27	棚倉町商店会連合会全体会議			7.18	「東北の小京都棚倉」イメ ージアップ
8.7	平成25年度（2013） 青年部講演会「商人（あ きんど）の心に学ぶ」	6.2	平成28年度（2016） 棚倉町里山事業「ホテル の講演会」	8.14	ドリブル1・2・3事業 （気持ち弾む・興味が 弾む・会話が弾む）の推 進（商業部会）
5.15	金澤寛二会長知事表彰授賞式	7.9	S1グランプリinたいしん オープニングセレモニー	8.28~	第71回棚倉夏まつり
5.18~19	トロッコ列車	7.24	金澤寛二顧問旭日単光章 叙勲祝賀会	9.6	経営発達支援事業儲かる 経営塾2019（全4回）
6.23	棚倉町カード事業組合復 興応援バスツアー	10.15~16	川越まつり及び蛍飼育観察	10.1	グルメ&ダイニングスタ イルショー事前視察研修
7.2	トピーカップ日米対抗ゴ ルフ選手権全体会議	10.30	わくわく東白川ご当地キ ャラ祭inたなぐら	10.18	棚倉町プレミアム付商品 券利用開始
7.3	金澤寛二棚倉町商工会長 表彰祝賀会	11.5	川越・棚倉ゴルフ大会	10.27	八溝山周辺地域立地企業 等交流会
7.28	水郡線サイクリング列車	12.6	平成29年度町補助金要望活動	11.15	わくわく棚倉城食フェス タ参画
9.9	トピーカップウエルカム パーティー	2.19	棚倉町商工会女性部新年 会・50周年記念式典	11.28	東京棚倉会総会
11.16	棚倉藩と都々古別神社シ ンポジウム				工業部会企業見学（農業 組合法人ひかり・（株） DNAテクノバック）
11.22	東京棚倉会との懇談会	9.14~15	平成29年度（2017） わくわく東白川ご当地キ ャラ祭inたなぐら	12.3~4	川越齋組合との打ち合わせ
12.5	棚倉冬のイルミネーショ ン点灯式	9.29	川越まつり及び川越保存 会との懇談会	12.4~	経営発達支援事業SNS 活用セミナー（全2回）
1.24	大子号「居酒屋号」激励	11.14	行政視察研修（懇談会） （町議員団）	12.10	棚倉町商工会顧問・相談 役との懇談会
2.26	棚倉町復興ボーリング大会	11.19	棚倉町カード事業組合感 謝祭（20周年記念）	1.20	磐城棚倉駅イルミネーシ ョン設置
2.27	大子町親善交流ゴルフ大会	2.22	棚倉町地域活性化に向け た空き店舗及び	2.5~7	グルメ&ダイニングスタ イルショー出展相談会 （東京ビックサイト）
3.5	分けとく山本店花見弁当 試作品試食会	3.29	商店会等調査（商業部会） 経済講演会【IOTセミナー】 （工業部会）	2.8	棚倉町カード事業組合大 盤振舞食べ放題
6.2	平成26年度（2014） お座敷列車運行				令和2年度（2020） 新型コロナウイルス感染 症の影響により春まつり が中止。（60周年記念事 業も中止）
8.3	地球にやさしいふくしま 県民会議			5.25	第60回総代会を書面決議 で開催
8.13~14	ふくしま食のフェア（白 河国際CC）	5.24	平成30年度（2018） NPO法人ゴルフタウンし らかわ総会	8.14~15	新型コロナウイルス感染 症の影響により夏まつり が中止
10.18~19	川越まつり視察	6.5	棚倉青色申告会総会及び 研修旅行	10.23	棚倉町商工会60周年記念 式典を簡素化して実施 （新型コロナウイルス感染 防止のため）
10.23	大子町商工会との親善GC	6.10	第69回全国植樹祭		※新型コロナウイルス感 染症の影響により各種の 行事、活動がほぼ中止と なる
11.3	城下町棚倉わくわくフェスタ	7.12	一日倉庫		
11.5	棚倉町田舎倶楽部総支配 人就任GC	8.8~9	福島食フェア2018（1 事業所出店）		
11.8	裏千家茶会	10.3	広域連携「税務講習会」		
11.9~10	川越市との親善GC	10.25~26	食のフェア商談会及び個 別懇談会（1事業所）		
11.13	地球にやさしいふくしま 県民会議	10.25	県連適正化指導		
11.3	水郡線開通80周年記念営 業所まつり	11.4	わくわく棚倉城食フェスタ		
2.23	プレミアム商品券発行に 係る会議	11.13	棚倉町ふるさと講座		
2.24	公共交通活性化協議会	11.16	東京棚倉会総会		
3.1	中西光雄氏との「蛍の光」 打合せ	11.20	広域連携「売上アップセ ミナー」（第1回）		
5.29	平成27年度（2015） 棚倉町プレミアム付商品 券実行委員会	11.27	広域連携「売上アップセ ミナー」（第2回）		
7.3	棚倉町プレミアム付商品	12.4	広域連携「売上アップセ ミナー」（第3回）		

歴代役員一覧表

	昭和35年度 1960	昭和40年度 1965	昭和45年度 1970	昭和50年度 1975	昭和55年度 1980	昭和60年度 1985	平成2年度 1990	平成7年度 1995	平成11年度 1999	平成12年度 2000
会長	藤田豊作	渡辺正雄	渡辺正雄	半田信次	和田秀寿	和田秀寿	藤田嘉平二	藤田嘉平二	遠澤金吉	遠澤金吉
副会長	田田茂清	吉田幸茂	川田幸茂	大和田幸茂	大野正嘉	大野正嘉	大平義明	藤田嘉平二	藤田昌勝	藤田昌勝
理事	竹佐藤山小武高狸川大富小松久藤緑和宗藤近	市川見橋成川倉渡斎小和	大菊立和吉遠須渡真古大藤鎌沼安竹藁	和野田瀬木地見沼川井積辺谷沢高藤田渚木相信坂	和野田瀬木地見沼川井積辺谷沢高藤田渚木相信坂	和野田瀬木地見沼川井積辺谷沢高藤田渚木相信坂	大平義明	藤田昌勝	遠澤金吉	遠澤金吉
監事	半田信次	半田信次	小倉清	小倉清	小倉清	小倉清	佐川信清	渡辺敏	渡辺敏	渡辺敏
青年部長	田喜八郎	田喜八郎	倉田勝子	倉田勝子	倉田勝子	倉田勝子	佐川信清	渡辺敏	渡辺敏	渡辺敏
婦人部長	信次郎	信次郎	豊次郎	豊次郎	豊次郎	豊次郎	信次郎	敏平子	敏平子	敏平子

副会長
 理事
 監事
 青年部長
 女性部長

平成13年度 2001	平成14年度 2002	平成15年度 2003	平成16年度 2004	平成17年度 2005	平成18年度 2006	平成19年度 2007	平成20年度 2008	平成21年度 2009	平成22年度 2010
金吉藤 澤田 寛勝 二英 田木 田木 榮一 英一 鈴石 田石 榮一 一 和近 田田 哲 一 近小 倉子 史 二 増近 藤勲 榮 功 高須 橋忠 勲 崇 大角 野直 忠 市 陣野 正清 恭 宏 藤後 須光 真 夫 須廣 須真 一 丹牧 治誠 一 綠石 川井 保 二 大拜 原井 清 一 鈴立 木石 照 夫 大齋 藤川 大 夫 面鵜 沼川 大 夫 藤宗 田田 智 子	金吉藤 澤田 寛勝 二英 田木 田木 榮一 英一 鈴石 田石 榮一 一 和近 田田 哲 一 近小 倉子 史 二 増近 藤勲 榮 功 高須 橋忠 勲 崇 大角 野直 忠 市 陣野 正清 恭 宏 藤後 須光 真 夫 須廣 須真 一 丹牧 治誠 一 綠石 川井 保 二 大拜 原井 清 一 鈴立 木石 照 夫 大齋 藤川 大 夫 面鵜 沼川 大 夫 藤宗 田田 智 子	金吉藤 澤田 寛勝 二英 田木 田木 榮一 英一 鈴石 田石 榮一 一 和近 田田 哲 一 近小 倉子 史 二 増近 藤勲 榮 功 高須 橋忠 勲 崇 大角 野直 忠 市 陣野 正清 恭 宏 藤後 須光 真 夫 須廣 須真 一 丹牧 治誠 一 綠石 川井 保 二 大拜 原井 清 一 鈴立 木石 照 夫 大齋 藤川 大 夫 面鵜 沼川 大 夫 藤宗 田田 智 子	金吉藤 澤田 寛勝 二英 田木 田木 榮一 英一 鈴石 田石 榮一 一 和近 田田 哲 一 近小 倉子 史 二 増近 藤勲 榮 功 高須 橋忠 勲 崇 大角 野直 忠 市 陣野 正清 恭 宏 藤後 須光 真 夫 須廣 須真 一 丹牧 治誠 一 綠石 川井 保 二 大拜 原井 清 一 鈴立 木石 照 夫 大齋 藤川 大 夫 面鵜 沼川 大 夫 藤宗 田田 智 子	金吉藤 澤田 寛勝 二英 田木 田木 榮一 英一 鈴石 田石 榮一 一 和近 田田 哲 一 近小 倉子 史 二 増近 藤勲 榮 功 高須 橋忠 勲 崇 大角 野直 忠 市 陣野 正清 恭 宏 藤後 須光 真 夫 須廣 須真 一 丹牧 治誠 一 綠石 川井 保 二 大拜 原井 清 一 鈴立 木石 照 夫 大齋 藤川 大 夫 面鵜 沼川 大 夫 藤宗 田田 智 子	金吉藤 澤田 寛勝 二英 田木 田木 榮一 英一 鈴石 田石 榮一 一 和近 田田 哲 一 近小 倉子 史 二 増近 藤勲 榮 功 高須 橋忠 勲 崇 大角 野直 忠 市 陣野 正清 恭 宏 藤後 須光 真 夫 須廣 須真 一 丹牧 治誠 一 綠石 川井 保 二 大拜 原井 清 一 鈴立 木石 照 夫 大齋 藤川 大 夫 面鵜 沼川 大 夫 藤宗 田田 智 子	金吉藤 澤田 寛勝 二英 田木 田木 榮一 英一 鈴石 田石 榮一 一 和近 田田 哲 一 近小 倉子 史 二 増近 藤勲 榮 功 高須 橋忠 勲 崇 大角 野直 忠 市 陣野 正清 恭 宏 藤後 須光 真 夫 須廣 須真 一 丹牧 治誠 一 綠石 川井 保 二 大拜 原井 清 一 鈴立 木石 照 夫 大齋 藤川 大 夫 面鵜 沼川 大 夫 藤宗 田田 智 子	金吉藤 澤田 寛勝 二英 田木 田木 榮一 英一 鈴石 田石 榮一 一 和近 田田 哲 一 近小 倉子 史 二 増近 藤勲 榮 功 高須 橋忠 勲 崇 大角 野直 忠 市 陣野 正清 恭 宏 藤後 須光 真 夫 須廣 須真 一 丹牧 治誠 一 綠石 川井 保 二 大拜 原井 清 一 鈴立 木石 照 夫 大齋 藤川 大 夫 面鵜 沼川 大 夫 藤宗 田田 智 子	金吉藤 澤田 寛勝 二英 田木 田木 榮一 英一 鈴石 田石 榮一 一 和近 田田 哲 一 近小 倉子 史 二 増近 藤勲 榮 功 高須 橋忠 勲 崇 大角 野直 忠 市 陣野 正清 恭 宏 藤後 須光 真 夫 須廣 須真 一 丹牧 治誠 一 綠石 川井 保 二 大拜 原井 清 一 鈴立 木石 照 夫 大齋 藤川 大 夫 面鵜 沼川 大 夫 藤宗 田田 智 子	金吉藤 澤田 寛勝 二英 田木 田木 榮一 英一 鈴石 田石 榮一 一 和近 田田 哲 一 近小 倉子 史 二 増近 藤勲 榮 功 高須 橋忠 勲 崇 大角 野直 忠 市 陣野 正清 恭 宏 藤後 須光 真 夫 須廣 須真 一 丹牧 治誠 一 綠石 川井 保 二 大拜 原井 清 一 鈴立 木石 照 夫 大齋 藤川 大 夫 面鵜 沼川 大 夫 藤宗 田田 智 子

会 副 理
 長 事
 監 事
 青年部長
 女性部長

平成23年度 2011	平成24年度 2012	平成25年度 2013	平成26年度 2014	平成27年度 2015	平成28年度 2016	平成29年度 2017	平成30年度 2018	令和元年度 2019	令和2年度 2020
金高立大 澤橋石大 寛直 二哉誠守 隆夫之昭 造男樹平 正俊誠広 昇彦一 行一作 郎浩夫樹 彦之彦 正夫夫男 也之人夫 典利俊裕 子	金立大藤 澤石相田 寛智和一 秀雅 二誠守之 男平樹俊 誠昇彦一 一行一 作郎浩夫 樹彦之彦 正夫夫男 也之人夫 典利俊裕 子	金立大藤 澤石相田 寛智和一 秀雅 二誠守之 男平樹俊 誠昇彦一 一行一 作郎浩夫 樹彦之彦 正夫夫男 也之人夫 典利俊裕 子	金立大藤 澤石相田 寛智和一 秀雅 二誠守之 男平樹俊 誠昇彦一 一行一 作郎浩夫 樹彦之彦 正夫夫男 也之人夫 典利俊裕 子	立大野林 石相野越 和秀 誠守男樹 誠昇一作 郎浩夫樹 彦之彦 正夫夫男 也之人夫 典利俊裕 子	立大野林 石相野越 和秀 誠守男樹 誠昇一作 郎浩夫樹 彦之彦 正夫夫男 也之人夫 典利俊裕 子	立大野林 石相野越 和秀 誠守男樹 誠昇一作 郎浩夫樹 彦之彦 正夫夫男 也之人夫 典利俊裕 子	立大野林 石相野越 和秀 誠守男樹 誠昇一作 郎浩夫樹 彦之彦 正夫夫男 也之人夫 典利俊裕 子	立大野林 石相野越 和秀 誠守男樹 誠昇一作 郎浩夫樹 彦之彦 正夫夫男 也之人夫 典利俊裕 子	立大野林 石相野越 和秀 誠守男樹 誠昇一作 郎浩夫樹 彦之彦 正夫夫男 也之人夫 典利俊裕 子

在職職員一覽表

年度 職名	昭和35年度 1960	昭和40年度 1965	昭和45年度 1970	昭和50年度 1975	昭和55年度 1980	昭和60年度 1985	平成2年度 1990	平成7年度 1995	平成11年度 1999	平成12年度 2000
事務局長	大峰 巖			武地 弘司	蛭田 守	蛭田 守	山内 一彦 (H23.3.31町復帰平) 佐藤 周平 (H24.1.1採用)	根岸 健二	根岸 健二 (H11.3.31退職) 山口 昂太郎 (H11.4.1採用)	山口 昂太郎
経営指導員	大峰 巖	大峰 巖	小野里 保男	小野里 保男 中島 修三	武地 弘司 小針 敏憲	梅沢 元善 小針 敏憲	白石 光一 小針 敏一	遠藤 靖男 白石 光一	遠藤 靖男 藤賀 宏美	遠藤 靖男 藤賀 宏美
補助員		田部井 俊子	田部井 俊子	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ	角田 利江 (H11.7.1より)	角田 利江
記帳専任職員			甲賀 謙寿	向鈴 須藤 和子 井木 藤和 正代子	須藤 和子 井島 洋子	向井 正子 井木 洋子	須藤 和子 須藤 和子	須藤 和子 須藤 和子	須藤 和子 須藤 和子	須藤 和子 須藤 和子
記帳指導職員					向寺 井島 洋子					
記帳指導員			小林 正四							
一般職員	佐藤 愛子	星野 美雄 居塚 征子	星野 美雄 中川 西恵子			須藤 和子	市川 浩昭	市川 浩昭 (H7.6.30退職) 青柳 孝 (H7.11.1採用)	青柳 孝	青柳 孝
年度 職名	平成13年度 2001	平成14年度 2002	平成15年度 2003	平成16年度 2004	平成17年度 2005	平成18年度 2006	平成19年度 2007	平成20年度 2008	平成21年度 2009	平成22年度 2010
事務局長	山口 昂太郎	山口 昂太郎	山口 昂太郎	根本 秀男 (H16.4.1採用)	根本 秀男	根本 秀男	根本 秀男	根本 秀男	根本 秀男	根本 秀男 (H21.6.30退職) 藤田 和宣 (H21.7.11採用)
経営指導員	向井 正子 芳賀 宏美 角田 利江 (H13.12.31退職) 須藤 和子 (H14.1.1より)	向井 正子 芳賀 宏美	向井 正子 芳賀 宏美	向井 正子 芳賀 宏美 松須 鈴木 和洋子	向井 正子 芳賀 宏美 松須 鈴木 和洋子	向井 正子 芳賀 宏美 松須 鈴木 和洋子	向井 正子 芳賀 宏美 松須 鈴木 和洋子	蛭田 栄之 片野 博 (H20.4.1より)	蛭田 栄之 片野 博 松須 鈴木 和洋子	市川 浩昭 片野 博 松須 鈴木 和洋子
補助員	須藤 和子 (H13.12.31退職) 須藤 和子 (H14.1.1より)	須藤 和子	須藤 和子	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ
記帳専任職員	須藤 和子 青柳 孝 (H13.12.31まで) 宮澤 由美 (H14.1.1採用)	鈴木 洋子 青柳 孝 (H16.6.30退職) 松本 シヅエ (H14.7.1より)	松本 シヅエ							
一般職員	青柳 孝 (H13.12.31まで) 宮澤 由美 (H14.1.1採用)	宮澤 由美	宮澤 由美	宮澤 由美	宮澤 由美	皆川 由美	皆川 由美	皆川 由美	皆川 由美	皆川 由美
年度 職名	平成23年度 2011	平成24年度 2012	平成25年度 2013	平成26年度 2014	平成27年度 2015	平成28年度 2016	平成29年度 2017	平成30年度 2018	令和元年度 2019	令和2年度 2020
事務局長	藤田 和宣 (H23.1.31退職) 酒井 聖史 (H23.2.1より)	酒井 聖史	酒井 聖史	酒井 聖史	酒井 聖史	酒井 聖史 (H29.2.1採用)	菊池 一己	菊池 一己 (H30.7.31退職) 酒井 聖史 (H30.8.1採用)	酒井 聖史 (R元.6.30退職) 益保 弘 (R元.7.1採用)	益保 弘
経営指導員	市川 浩昭 片野 博之	市川 浩昭 片野 博之	市川 浩昭 片野 博之	市川 浩昭 吉田 智彦	瀨谷 房之彦 吉田 智彦	瀨谷 房之彦 吉田 智彦	瀨谷 房之彦 吉田 智彦	瀨谷 房之彦 吉田 智彦	瀨谷 房之彦 吉田 智彦	瀨谷 房之彦 吉田 智彦 (R2.6.30退職) 後藤 隆 (R2.7.1より)
経営支援員	松本 シヅエ 蛭田 久美子 鈴木 洋子	松本 シヅエ 蛭田 久美子 近藤 典子	蛭田 久美子 近藤 典子	蛭田 久美子 近藤 典子	近藤 典子 薄葉 會	近藤 典子 薄葉 會	近藤 典子 薄葉 會	皆川 由美 川股 本	皆川 由美 川股 本	皆川 由美 川股 本
一般職員	皆川 由美									
復興支援員	武藤 智恵子 (H24.3.1より)	武藤 智恵子	武藤 智恵子	武藤 智恵子	武藤 智恵子	武藤 智恵子	武藤 智恵子	武藤 智恵子	増子 遥菜 (H30.5.1より)	増子 遥菜 上田 正子

棚倉町商工会創立60周年記念式典 実行委員会

実行委員長	棚倉町商工会長	立石	誠
副実行委員長	棚倉町商工会副会長	大野	和男
副実行委員長	棚倉町商工会副会長	近藤	弘
運営委員長	棚倉町商工会観光交通委員長	高田	昇
副運営委員長	棚倉町商工会商業委員長	石井	二郎
副運営委員長	棚倉町商工会金融税務委員長	鈴木	彦彦
副運営委員長	棚倉町商工会工業委員長	藤田	豊彦
委員	棚倉町商工会理事	鈴木	木達
”	棚倉町商工会理事	石川	川隆
”	棚倉町商工会理事	渡辺	智夫
”	棚倉町商工会理事	菊地	良臣
”	棚倉町商工会理事	藤田	和男
”	棚倉町商工会理事	森田	和春
”	棚倉町商工会理事	大竹	盛栄
”	棚倉町商工会理事	大瀬	忍夫
”	棚倉町商工会理事	松本	一夫
”	棚倉町商工会理事	金沢	一則
”	棚倉町商工会理事	穂積	栄雄
”	棚倉町商工会理事	吉田	竜淳
”	棚倉町商工会理事	安住	敏夫
”	棚倉町商工会理事	松本	敏夫
”	棚倉町商工会理事	沼田	靖男
”	棚倉町商工会理事	宇津木	太郎
”	棚倉町商工会理事	宇津木	太郎
”	棚倉町商工会理事	緑川	人栄
”	棚倉町商工会理事	小倉	征正
”	棚倉町商工会青年部副部長	高橋	宏
”	棚倉町商工会監事	近藤	誠
”	棚倉町商工会監事	村越	誠
”	棚倉町商工会青年部長	鈴木	幹久
”	棚倉町商工会女性部長	垂石	みわ子
”	棚倉町商工会青年部副部長	立石	健士
”	棚倉町商工会女性部副部長	嶋田	幸美
”	棚倉町商工会女性部副部長	遠藤	広美



棚倉町商工会

〒963-6123 福島県東白川郡棚倉町大字関口字上志宝2-3
TEL 0247-33-3161(代) FAX 0247-33-3162
E-mail tanasho@coral.ocn.ne.jp